

別紙 発表者（令和7年度チャレンジャー）

【敬称略、五十音順】

【お寺の空き空間を日常的に活用できるサービスの提供】

安藤 千恵

【事業の概要】

普段使われていないお寺の空間を、仕事や休息、集まりなど目的に応じて開放することで、お寺という非日常な環境を活かし、活動の質を高める空間活用サービスを提供する。

【取り組むきっかけ】

お寺の経営に関わる中で、地域との接点の希薄化や従来の経営手法に限界を感じたが、かつての交流拠点としてのお寺の役割を現代に合わせて見直し、持続可能なお寺の運営モデルを作りたいと考えたこと。

【「タレントの推し活（応援の力）」を起点とした観光・産業振興、地域活性化事業】

板垣 一志

【事業の概要】

タレントのファンが自らの“推し”に旅を贈り、“推し”が現地での写真やお土産、イベントでファンに返礼する仕組み「推しVacation」を通じ、観光・産業振興、地域活性化のきっかけをつくる。

【取り組むきっかけ】

推し活をするファンに、タレントから旅行先のお土産が届くことで、タレント×ファン×観光地の関係性が高まる「三方よし」の状況が生まれるのでと考えたこと。

【地域資源を活かしたインバウンド向け農体験の提供】

片野 博英

【事業の概要】

梅とミカンが特産である小田原の日本家屋を拠点に、料理や農作業など農の暮らし体験を提供する。

【取り組むきっかけ】

幼少期に冒険して遊んだミカン山が荒廃していく現状を目の当たりにし、楽しい記憶のある風景を次世代へ繋ぎたいと考えたこと。

【妊活期の女性の健康を食と女性の身体ケアで支えるプログラムの提供】

神尾 美貴

【事業の概要】

腸内環境を整える食事と、女性の身体に寄り添うケアを組み合わせ、妊活期の心身の土台を内側から整えるインナービューティープログラムを提供する。

【取り組むきっかけ】

妊活中、多くの女性が不安を抱えている現状を知り、日常の食とケアから心身を整える支援が必要だと考えたこと。

【浴室でのヒートショックを予防する装置の提供】

木下 裕美子

【事業の概要】

高齢者に対して、浴室でのヒートショック（温度変化による急激な心臓負荷がもたらす健康被害）の予防意識を高めるためのウェアラブル装置を開発・提供する。

【取り組むきっかけ】

入浴時のヒートショックによる死者数は交通事故よりも多く、個人の健康意識を高めることが「予防」につながり、地域の人々の幸せな日常を支えると考えたこと。

【ボードゲーム×対話のオリジナル体験の提供】

清水 隆弘

【事業の概要】

「ボードゲームで心をほどき、対話で関係性を深める」をコンセプトに、数百種のボードゲームを活用し、対話を促すイベントや子ども向け教室、企業向け研修などを開催する。

【取り組むきっかけ】

人間関係に苦しむ一方、ボードゲームで救われた経験がある中、ボードゲームで心をほどき、対話で関係を深めることで、人間関係が改善する可能性を感じたため。

【小田原産「十郎梅」を使用したプレミアム梅酒の提供】

善波 弘志

【事業の概要】

小田原産「十郎梅」を使用したプレミアム梅酒など、西湘地域の特産品を生かしてブランディングした商品・サービスを開発・提供する。

【取り組むきっかけ】

「小田原には何もないよね」と言わされたことに違和感を覚え、地域にある価値を地域の人が誇れるようになると良いと考えたこと。

【障害の有無や年齢に関わらず孤立せずに暮らせる住まいの提供】

高見 亜希子

【事業の概要】

医療・介護・福祉のネットワークと関わりを持ち、生活の一部を共同化して住環境の整備を行っていながら、多世代で暮らすコミュニティ活動に参加する機会を提供する。具体的には、障害の有無や年齢に関わらず孤立せずに暮らせるよう、空き家や森や畠を活用しつつ、自然環境に配慮した暮らし方を実践する住まいを提供する。

【取り組むきっかけ】

孤立が心身の健康や生きがいに大きく影響すると実感した経験から、人のつながりの中で誰もが最期まで自分らしく過ごせる場所が必要であると考えたこと。

【ジェンダーレス男性向けアパレル商品選定ツール提供事業】

西 諒夏

【事業の概要】

ジェンダーレス男性が抱える、自らに合った服のサイズや試着機会、着こなしといった不安を解消し、最適な商品と着こなしを提案するWEBサービスを開発し、提供する。

【取り組むきっかけ】

情報不足や試着の壁により、着たい気持ちを諦め、外出や人と会うことを避けた経験があり、周囲にも似た悩みが多かったことから、悩みを解消する仕組みが必要と考えたこと。

【内省と対話の反復や、家計の見直しによる自分らしい生き方を設計する支援】

三宅 秀昌

【事業の概要】

雑音の少ない環境で、瞑想やウォーキングなどを取り入れたリトリートを行い、余白ある時間の中で五感に意識を向けながら内省と対話を重ねる機会を提供する。さらに、公認会計士とファイナンシャルプランナーの視点から生活に必要な水準を見極めた上で家計の支出を見直すことで、自分自身の人生設計を考える支援を行う。

【取り組むきっかけ】

生活において余分なものを手放すことで本質が見えてくると実感し、自分らしさに立ち返る機会を提供したいと考えたこと。

【消防士をがんから守るための発がん性物質除去特化型クリーニングの提供】

森田 義章

【事業の概要】

防火服に発がん性物質が付着することの普及啓発を行うとともに、発がん性物質を除去・軽減する洗剤を開発・活用する防火服専用クリーニングを提供する。

【取り組むきっかけ】

消防士が火災現場から疲れた状態で消防署に帰ってきてから、自分の手で発がん性物質が付着した防火服を洗い、また自分の身体に悪影響を与えていた現状を変えたいと考えたこと。